

湖西市地域公共交通総合連携計画事業評価

平成 28 年 9 月

湖西市企画部市民協働課

湖西市地域公共交通総合連携計画における事業の概要

3-5. 目標を達成するために行う事業及びその実施主体に関する事項

(1) 基本方針、目標と事業の関係

地域公共交通総合連携計画の目標を達成するための事業の方向性と具体的な事業の関係を下図に示します。

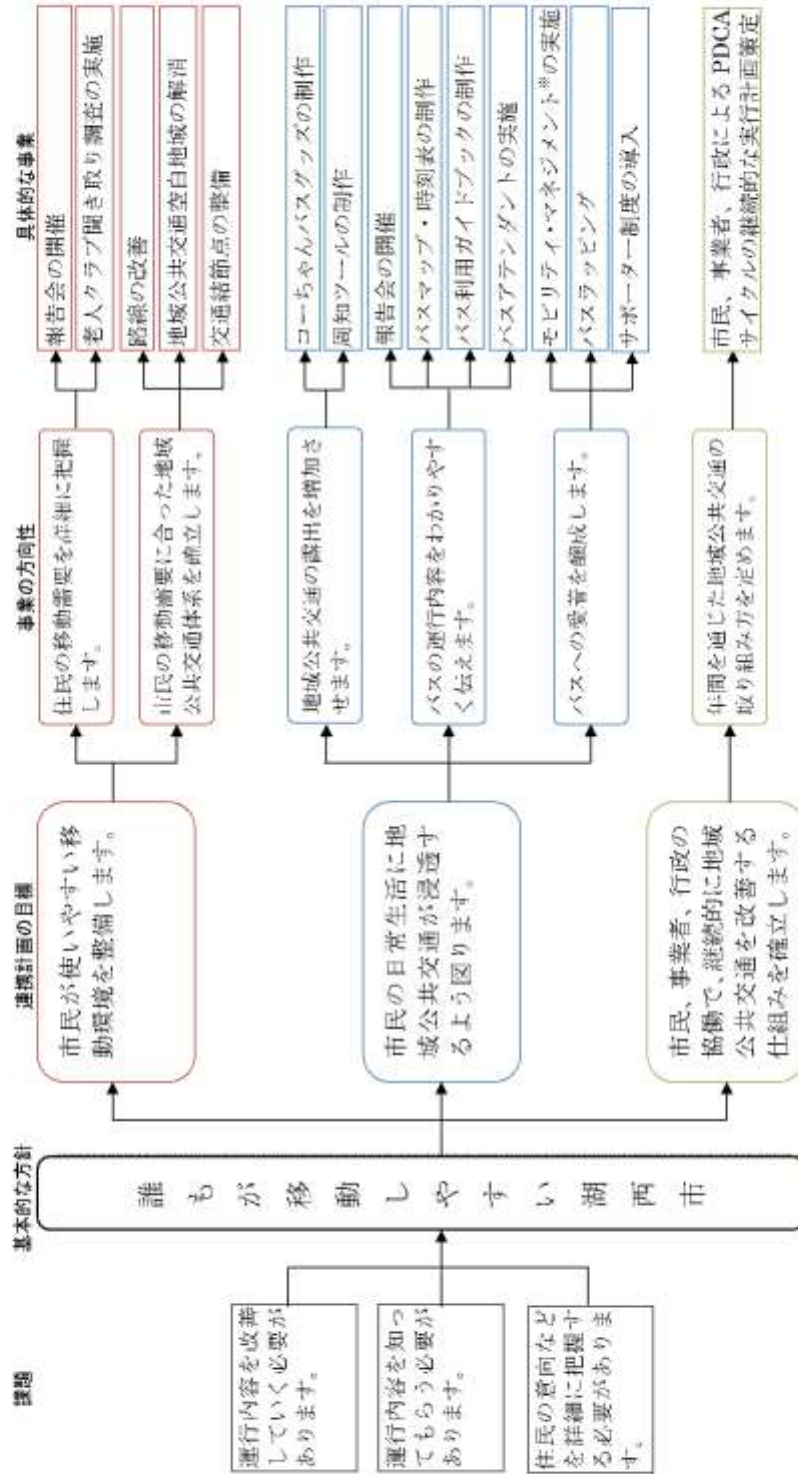


図 1-3 基本方針、目標と事業の関係

※モビリティ・マネジメント：「個別のコミュニケーションを通じて、公共交通や徒歩などを含めた交通手段を適度にご利用する状態に、少しずつ変えていく一連の取り組み」を指します。

(2) 具体的な事業スケジュールと実施主体一覧

目標を達成するために、下記の事業の実施を想定します。
 なお、持続可能な地域公共交通体系を構築するためには、地域の関係者が協働・連携しながら確保・維持に向けた取り組みを推進する必要があります。
 あることから、地域協働推進事業を実施します。

表 1-1 路線再編等事業

具体的な事業	対象	実施主体	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年以降
報告会の開催	市内全域	湖西市地域公共交通会議	・実施	・実施	・実施	・実施
老人クラブ聞き取り調査の実施	市内全域	湖西市地域公共交通会議	・実施	・実施	・実施	・実施
路線の改善	遠州鉄道浜名線 白須賀新居津線 新居鷺津線 白須賀鷺津線 白須賀岡崎線 岡崎権栗線 岡崎鷺津線 知波田鷺津線	湖西市地域公共交通会議	・白須賀新居津線、新居鷺津線の改善 ・白須賀岡崎線、岡崎権栗線、岡崎鷺津線の改善 ・ルート・ダイヤ・乗降場所などの評価、改善策の検討	・ルート・ダイヤ・乗降場所などの評価、改善策の検討	・ルート・ダイヤ・乗降場所などの評価、改善策の検討	・継続的な評価、改善
地域公共交通空白地域の解消	中尾平地域	湖西市地域公共交通会議 地域住民	・対応策の検討 ・実証実験	・評価 ・本格運行開始	・本格運行	・継続的な評価、改善
交通結節点の整備	日ノ岡 J A湖西北支店 白須賀公民館	湖西市地域公共交通会議 地域住民		・対応策の検討	・改善	

表 1・2 利便性向上・利用促進事業

具体的な事業	対象	実施主体	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年以降
コーちゃんバス グッズ制作	市内全域	湖西市地域公共 交通会議 市民	—	・ストラップの制作	・キーホルダーの制 作	
周知ツールの制 作	市内全域 交通事業者	湖西市地域公共 交通会議	—	・ポスター ・チラシ ・パンフ ・ステッカー	・ポスター ・チラシ ・更新	・チラシ ・更新
バスマップ・時刻 表の制作	市内全域	湖西市地域公共 交通会議	・制作	・更新	・更新	・更新
バス利用ガイド ブックの制作	市内全域	湖西市地域公共 交通会議	・新居地区	・白須賀地区 ・知波田地区 ・入出・新所地区 ・実施検討	・岡崎地区 ・鷺津地区	・ガイドブックの 更新 ・実施継続
バスアテンダン トの実施	市内全域	湖西市地域公共 交通会議 地域住民	—	—	・立ち上げ	
モビリティ・マ ネジメントの実 施	市内全域	湖西市地域公共 交通会議	・新居地区 ・幼稚園児 ・高齢者	・入出・新所地区 ・幼稚園児 ・高齢者	・知波田地区 ・幼稚園児 ・高齢者	・白須賀地区 ・鷺津地区 ・岡崎地区 ・遠州鉄道
バスラッピング	白須賀新居線 新居鷺津線 白須賀鷺津線 山須賀岡崎線 岡崎笹栗線 岡崎鷺津線 知波田鷺津線	湖西市地域公共 交通会議	・浜松バス	・浜松バス	・遠州鉄道	
サポーター制度	市内全域	湖西市地域公共 交通会議	—	・実施検討	・実施	・実施

評価講評

①路線再編等事業

(1) 報告会の開催

【当初計画】

項目	概要
ねらい	1年間の地域公共交通の運行状況を市民に報告し意見を把握することで、地域公共交通への愛着を醸成するとともに、地域公共交通への市民の意見を把握し、改善の基礎資料とします。
事業対象	市内全域
事業主体	湖西市地域公共交通会議
実施時期	毎年2～3月
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・公民館などに住民に集まってもらい、1年間の地域公共交通の利用状況や、湖西市バス運行評価改善報告書の概要、改善の実施計画（案）などを報告します。・どうすれば市民に利用してもらえる地域公共交通になるかなどについて、参加者と意見交換します。・報告会は、市内を6地区に分け、集まりやすい日中に実施します。・事前の周知を綿密に行うことで、できるだけ多くの参加者が集まれるよう図ります。

【実施内容】

評価項目	評価の着目点	評価講評
事業内容	実施時期	
	実施内容	・一同に住民に集まってもらい、利用状況や評価改善の概要、今後の計画の報告をした。
	実施状況	・開催する曜日や時間帯、開催場所の工夫がいる。
	実施効果	・地域へ出かけることで、直接地域の住民と話をきくことができ、改善につなげることが可能になる。
総評	当初計画どおりの事業効果があった。	・多くの住民に参加してもらおう工夫が必要である。

(2) 老人クラブ聞き取り調査の実施

【当初計画】

項目	概要
ねらい	コーちゃんバスの主たる対象者である高齢者の意見を直接把握することで、コーちゃんバスをより利用しやすいものに改善するための基礎資料とします。
事業対象	市内全域
事業主体	湖西市地域公共交通会議
実施時期	平成 26 年度～
事業内容	・老人クラブの会合などに伺い、コーちゃんバスの運行内容などを説明するとともに、日頃のご意見などを直接お聞きします。

【実施内容】

評価項目	評価の着目点	評価講評
事業内容	実施時期	
	実施内容	・老人クラブの会合等に伺い、コーちゃんバスの運行内容等を説明すると共に、日頃の意見を直接聞き取ることができた。
	実施状況	・利用者が存在する地域を見極めることによる計画を策定する。
	実施効果	・継続的な利用期待できる方と顔を合わせて話ができて、ニーズ把握につながっている。
総評	当初計画で期待されたほどの事業効果がなかった	<ul style="list-style-type: none"> ・今後への継続性を持たせる仕掛けが必要である。 ・ニーズの把握方法を検討する余地があると感じた。

(3) 路線の改善

【当初計画】

項目	概要
ねらい	湖西市バス運行評価改善委員会の改善提案を受け、各路線のルート、ダイヤ、乗降場所、運行形態に加え、運転手の対応など運行内容の改善を図ることで、地域公共交通をより市民に使いやすいものに改善します。
事業対象	遠州鉄道浜名線、白須賀新居線、新居鷺津線、白須賀鷺津線、白須賀岡崎線、岡崎循環線、岡崎鷺津線、知波田鷺津線
事業主体	湖西市地域公共交通会議
実施時期	適宜（改善が必要な点は速やかに実施）
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度は、白須賀新居線、新居鷺津線、白須賀岡崎線、岡崎循環線、岡崎鷺津線のルート、ダイヤを改善します。 平成27年度以降も、湖西市バス運行評価改善委員会の改善提案などを踏まえ、適宜ルート、ダイヤの改善を図ります。

【実施内容】

評価項目	評価の着目点	評価講評
事業内容	実施時期	
	実施内容	・安全、安心や利用者の利便性の向上等、必要に応じてルート、ダイヤの改善を行った。
	実施状況	・利用者からの不満によるダイヤ改正になっていることから、きめ細かいニーズ把握に時間を要する。
	実施効果	・各地域からの要望を伺う中で、地域の利用者にあった利便性が向上する。
総評	当初計画どおりに事業は進捗している	・実行した結果が本当にニーズとマッチしているか、検証する必要がある。

(4) 地域公共交通空白地域の解消

【当初計画】

項目	概要
ねらい	現在、駅やバス停から遠い地域の移動手段を検討し、実現することで、地域公共交通空白地域を解消し、「だれもが利用しやすい湖西市」の実現を図ります。
事業対象	中尾平地域
事業主体	湖西市地域公共交通会議、地域住民
実施時期	平成 26 年度～
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・中尾平地域の代表者と地域の移動について協議します。 ・地域の移動改善策案（運行の趣旨、運行形態、費用負担など）を作成し、地域住民全世帯にその是非について諮ります。 ・移動改善策案が地域住民の賛同を得られた場合は、実証実験の準備（事業者調整、周知ツールの作成など）を行います。 ・実証実験の利用状況を踏まえて、本格運行に移行するかどうかを判断します。

【実施内容】

評価項目	評価の着目点	評価講評
事業内容	実施時期	
	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・中尾平地域の代表者と意見交換を行った。 ・地域住民の意向が原状で不満でないということであった。
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車やバイクを利用している住民との時間をかけた話し合いが必要である。
	実施効果	<ul style="list-style-type: none"> ・駅やバス停から遠い地域の移動手段の確保されることで、交通空白地域の解消につながる。 ・小学生の通学時における安全性が確保される。
総評	当初計画で期待されたほどの事業効果がなかった	<ul style="list-style-type: none"> ・現状は、通学や買い物、通院の移動手段に困っていないとの意見が挙がった。

(5) 交通結節点の整備

【当初計画】

項目	概要
ねらい	バス停の一整備や施設整備を行うことで、安全に、快適に乗り継ぎができる環境を作ります。
事業対象	日ノ岡、JA 湖西北支店、白須賀公民館、浜名病院
事業主体	湖西市地域公共交通会議、地域住民
実施時期	平成 26 年度～
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ JA 湖西北支店、白須賀公民館のバス待ち環境整備を検討します。 ・ 日の岡の乗り継ぎ環境を整備し、安全に乗り継げるよう図ります。

【実施内容】

評価項目	評価の着目点	評価講評
事業内容	実施時期	
	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 白須賀公民館は解体され、今後の計画が出来ていないため、整備ができない。日ノ岡バス停での乗継環境整備を調整中である。
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境整備をするための費用や関係者との調整に時間が必要である。
	実施効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全に、快適に乗継ができる環境が整う。
総評	当初計画で期待されたほどの事業効果がなかった	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乗り継ぎ環境を整える場所の関係者と時間をかけて話し合いをする必要がある。 ・ 乗り継ぎ拠点のバス停で必要性を再確認する必要がある。

②利便性向上・利用促進事業

(1) コーちゃんバスグッズ制作

【当初計画】

項目	概要
ねらい	ストラップやキーホルダーなどコーちゃんバスのグッズを制作し・配布することで、市民がコーちゃんバスへの親しみの向上を狙います。 さらに、これらを持ち歩いてもらうことで、露出の向上を狙います。
事業対象	市内全域
事業主体	湖西市地域公共交通会議、市民
実施時期	平成 27 年度～
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ストラップを制作し、イベントなどで市民に配布します。 ・キーホルダーを制作し、イベントなどで市民に配布します。 ・市民がより愛着を抱けるよう、デザインなどの公募も検討します。

【実施内容】

評価項目	評価の着目点	評価講評
事業内容	実施時期	
	実施内容	・市民に愛着を抱けるよう、デザインを施したバスシールを制作することや、団体の交流やネットワーク化を図るうえで重要である。
	実施状況	・バスシールの制作や情報報交換が可能な場を設定する必要がある。
	実施効果	・持ち歩いてもらうことで、コーちゃんバスの露出の向上になる。
総評	当初計画どおりの事業効果があった	・市民のコーちゃんバスへの愛着を持った親しみの向上につながる。

(2) 周知ツールの制作

【当初計画】

項目	概要
ねらい	ステッカー、チラシ、ポスターなどを制作し配布・掲示することで、コーちゃんバスの露出を向上し、コーちゃんバスの周知機会の増加を狙います。
事業対象	市内全域
事業主体	湖西市地域公共交通会議
実施時期	平成 27 年度～
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・車に貼ってもらえるよう、バンパーステッカーを制作し配布します。 ・チラシを作成し、イベントなどで配布し、新たな取り組みやバス路線の改善を周知します。 ・ポスターを作成し、公共施設に掲示するとともに、バス停命名権購入者など主要施設にも掲示してもらえるよう促します。

【実施内容】

評価項目	評価の着目点	評価講評
事業内容	実施時期	
	実施内容	・シールやチラシを制作し、イベント等で配布し、併せて新しい取り組みや改善の周知を行う。
	実施状況	・実施計画通りに進んでおり、充実した取り組みになっている。
	実施効果	・コーちゃんバスの露出の向上につながり、周知機会の効果が期待される。
総評	当初計画どおりの事業効果があった	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き目に見える形での積極的な取り組みをされたい。 ・類似した取り組みは、情報をもらうことで、事業を見直すことが可能になる。

(3) バスマップ・時刻表の制作

【当初計画】

項目	概要
ねらい	市内のバスの運行内容（ルート、ダイヤ、乗継など）が容易に把握できるバスマップを制作することで、市民が気軽にバスを利用できる環境づくりを支援します。
事業対象	市内全域
事業主体	湖西市、地域住民
実施時期	平成 26 年度～
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ A1 版の、市内統一バスマップを制作し、各戸に配布します。 ・ 毎年のルート・ダイヤ改正に合わせて、1 年に 1 回更新します。 ・ 制作にあたっては、報告会などを活用して地域住民のご意見を伺い、より使いやすいものになるよう図ります。

【実施内容】

評価項目	評価の着目点	評価講評
事業内容	実施時期	
	実施内容	・ ルート、ダイヤ改正に合わせて、バスマップを制作し、各戸に配布する。
	実施状況	・ 実施計画通りに進んでおり、全戸配布するなど、充実した取り組みになっている。
	実施効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ バスの運行内容（ルート、ダイヤ、乗継等）が容易に把握できる。 ・ 気軽にバスを利用できる環境が整う。
総評	当初計画どおりの事業効果があった	・ ダイヤ改正やルート変更に合わせて、バスマップ・時刻表を作成し、配布することで市民が気軽にバスを利用できる環境づくりを支援した。

(4) バス利用ガイドブックの制作

【当初計画】

項目	概要
ねらい	バスの使い方、バスを活用したライフスタイルなどをわかりやすく伝えられるガイドブックを制作し、配布することで、市民が安心してバスを利用できる環境づくりを支援します。
事業対象	市内全域
事業主体	湖西市地域公共交通会議、地域住民
実施時期	平成 26 年度～
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの利用方法、周辺施設の案内、観光案内、マイ時刻表などを掲載したガイドブックを制作します。 ・制作にあたっては、報告会などを活用して地域住民のご意見を伺い、より使いやすいものになるよう図ります。

【実施内容】

評価項目	評価の着目点	評価講評
事業内容	実施時期	
	実施内容	・バス利用方法、商業施設等の案内、観光案内等を掲載したガイドブックの制作。
	実施状況	・実施計画通りに進んでおり、関係する地域へ配布するなど、充実した取り組みになっている。
	実施効果	・ガイドブックを見て、市民が安心してバスを利用できる環境づくりに寄与している。
総評	当初計画どおりの事業効果があった	・普段利用しない方や利用している方への情報提供により今以上の利用促進につながっている。

(5) バスアテンダントの実施

【当初計画】

項目	概要
ねらい	バスの利用方法などを案内できるアテンダントを鷺津駅など主要施設に配置することで、初めてでも安心してバスを利用できる環境を整備します。
事業対象	市内全域
事業主体	湖西市地域公共交通会議
実施時期	平成 27 年度 : 実施検討 平成 28 年度～ : 実施
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国の事例をもとに、湖西市に合ったバスアテンダントの実施方法（配置場所、案内内容、必要施設・ツール、雇用・育成方法など）を検討します。 ・ 検討結果を踏まえ、平成 27 年度からの導入を想定します。

【実施内容】

評価項目	評価の着目点	評価講評
事業内容	実施時期	
	実施内容	・ 地域に相応しいアテンダントの仕組み（配置場所、案内内容、必要施設等）を検討する。
	実施状況	・ 実施計画通りに検討を行った。
	実施効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の利便性の向上につながる。 ・ 市民や市外からの利用者へのおもてなしにつながる。
総評	当初計画で期待されたほどの事業効果がなかった	・ アテンダント導入以前に、バスの認知度を上げることに重点を置く必要があることから、事業内容について検討を行った。

(6) モビリティ・マネジメントの実施

【当初計画】

項目	概要
ねらい	地域住民一人一人に、コーちゃんバスの利用方法や利用の効果などを継続的に知らせることで、公共交通を含めた多様な交通手段を適度に利用する状態に少しずつ変えていきます。
事業対象	市内全域
事業主体	湖西市地域公共交通会議
実施時期	平成 26 年度～
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の公民館などに伺い、地域住民にコーちゃんバスの利用方法のアドバイスや、直近の利用状況の確認などを行います。 ・一年を通じて、個別に利用状況の確認やその効果（環境、健康・・・）のお知らせを行います。

【実施内容】

評価項目	評価の着目点	評価講評
事業内容	実施時期	
	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者向け・幼稚園、保育園向けの体験乗車・講座を開催し、バス利用案内ガイドブック等を用いて、バスの利便性を周知することで利用促進を図る。 ・参加者アンケートも実施する。
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画通りにバス乗車体験や教室を実施した。
	実施効果	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃利用している人は、再認識でき、これから利用する人は安心して乗車できるきっかけづくりになった。 ・この乗車体験が他の地域へ波及していく。
総評	当初計画どおりの事業効果があった	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、他の地域や小学生への積極的な取り組みをされたい。 ・普段利用しない人でもバス利用を選択してもらおう働きかけになっている。

(7) バスラッピング

【当初計画】

項目	概要
ねらい	コーちゃんバスを統一のデザインでラッピングすることにより、市民が一目でコーちゃんバスとわかり、愛着を持てるようにします。
事業対象	白須賀新居線、新居鷺津線、白須賀鷺津線、白須賀岡崎線、岡崎循環線、岡崎鷺津線、知波田鷺津線
事業主体	湖西市地域公共交通会議
実施時期	平成 26 年度～
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・バス車両の統一のデザインを検討します。 ・できる車両から順にラッピングを実施します。

【実施内容】

評価項目	評価の着目点	評価講評
事業内容	実施時期	
	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・路線・乗り継ぎの分かりやすさ向上に資するバス車両デザインでラッピングする。
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・2年にわたり5台分の車両にラッピングを実施した。
	実施効果	<ul style="list-style-type: none"> ・初めての利用者でも車両のデザインで路線が判別できるようなデザインとすることで乗り継ぎの円滑化を図る。(バスの分かりやすさ向上を図る)
総評	当初計画どおりの事業効果があった	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者には一目でわかり、愛着をもて、一目で行き先が分かるように見える形でのバスラッピングを実施した。 ・マイバス意識の高揚による愛着を感じてもらえる。

(8) サポーター制度の実施

【当初計画】

項目	概要
ねらい	コーちゃんバスを応援していただける個人をサポートに認定し、会報の送付やコーちゃんバスを活用したイベントの企画などを通じ、コーちゃんバスへの愛着を醸成します。
事業対象	市内全域
事業主体	湖西市地域公共交通会議、地域住民
実施時期	平成 26 年度 : 制度検討 平成 27 年度～ : 制度創設
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全国の事例をもとに、湖西市に合ったサポーター制度（設立趣旨、活動内容、運営方法など）を検討します。 ・ 検討を踏まえ、有効性を見いだせられれば、サポーター制度を創設します。 ・ 会報の発行やイベントの企画・実施などを想定します。

【実施内容】

評価項目	評価の着目点	評価講評
事業内容	実施時期	
	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 団体のデータ（団体名、代表者名、所在地、活動目的、活動内容）をファイル化することで、情報発信につながっている。
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実施計画通りに検討した。
	実施効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個人を巻き込むことでマイバス意識の醸成につながり、応援団として見守っていただける。
総評	当初計画で期待されたほどの事業効果がなかった	<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続的な実施が求められる。 ・ 自発的な活動が行われる様、事務局としてのフォローが必要である。

③進行管理事業

(1) 市民、事業者、行政による PDCA サイクルの継続的な実施計画策定

【当初計画】

項目	概要
ねらい	毎年の運行を市民、事業者、行政により計画・実施・評価・改善（PDCA）することにより、少しずつより良い地域公共交通に改善していくことを目的とします。
事業対象	市内全域
事業主体	湖西市地域公共交通会議、地域住民
実施時期	平成 26 年度～
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 湖西市地域公共交通会議、湖西市バス運行評価改善委員会、湖西市地域公共交通庁内分科会により、市民、事業者、行政が共同してPDCAサイクルを実行します。 事務局は、市と運行事業者などで構成し、日頃からの運営・運行の確認、改善策の迅速な立案・実施に努めます。 年間の基本スケジュールを定め、着実に実行していきます。

【実施内容】

評価項目	評価の着目点	評価講評
事業内容	実施時期	
	実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 各種会議の位置付けを含めた役割を認識し、市民、事業者、行政が協働して PDCA サイクルを実行している。
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 年間計画通りに開催しており、次年度への改善につながるなど、充実した取り組みになっている。
	実施効果	<ul style="list-style-type: none"> 少しずつではあるが、より良い地域公共交通の改善につながっている。 市民、事業者、行政の団体間の連携が出来ている。
総評	当初計画どおりの事業効果があった	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き計画通りに積極的な取り組みをされたい。 行政及び事業者が一体となった事務局の継続的な運営が必要である。

湖西市地域公共交通総合連携計画事業評価基準

評価項目	評価の着目点	説明	特記事項	
			評価できる点	改善が望まれる点
事業内容	実施時期	どの時期に事業を実施したか。		
	実施内容	事業内容は市民活動のニーズを捉えたものであったか。		
	実施状況	実施時期や方法が適切で、計画通りに実施されたか。		
	実施効果	市民の満足度が高まり、具体的な効果があったか。		
総評		<ul style="list-style-type: none"> ■当初計画を上回る事業効果があった ■当初計画どおりの事業効果があった ■当初計画で期待されたほどの事業効果がなかった 		